

平成30年度 港区運営方針 具体的取組・業績目標・実績等・中間自己評価一覧 事前配付資料C

- 中間自己評価
- ①(i)⇒目標達成(見込)・取組は予定どおり進捗、
 - ①(ii)⇒目標達成(見込)取組は予定どおり進捗していない、
 - ②(i)⇒目標未達成(見込)・取組は予定どおり進捗、
 - ②(ii)⇒目標未達成(見込)・(ii)取組は予定どおり進捗していない

担当部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自己評価
—	1-1-1 【人と人のつながりづくり】	身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合:52.0%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人とのつながりづくりのための啓発や情報発信、活動支援などの件数(6件)区広報紙・区HPで地域活動協議会や地域振興会に関する記事を掲載するとともに、区広報紙に区内で活動する団体やグループの開催イベントを掲載(5,6,7,8月)。 ・地域活動協議会紹介チラシを作成し、区内転入者やイベント来場者に配布(約2000枚)。 ・区のツイッター・フェイスブックで、地域が実施するイベントへの参加呼びかけ等について情報発信した(80件)。 	①(i)
—	1-1-2 【地域に根ざした活動の活性化(第一層の活動への支援)】	自治会・町内会単位(第一層)の活動に参加している区民のうち、自治会・町内会単位の活動に対する市からの支援が役に立っていると感じている区民の割合:29年度を上回る割合をめざす(無作為抽出アンケートによる29年度:61.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ・合同地域会長会で大阪市の施策やイベント等の情報提供を実施。 ・区広報紙・区HPで地域活動協議会や地域振興会に関する記事を掲載するとともに、区広報紙に区内で活動する団体やグループの開催イベントを掲載した(5,6,7,8月)。 ・区広報紙(8月特集号)で地域の防災活動への参加について情報発信した。 ・マンション管理組合で実施された防災学習会へ参画し資料提供やアドバイスを行った(7月)。 	①(i)
—	1-1-3 【地域に根ざした活動の活性化(担い手不足の解消)】	ICTを活用した市民との対話を促進する取組が新たに創出された件数:1件以上	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に参加できる場や活動の新たな情報発信(6件)区広報紙・区HPで地域活動協議会や地域振興会に関する記事を掲載するとともに、区広報紙に区内で活動する団体やグループの開催イベントを掲載(5,6,7,8月)。 ・毎月の地域行事予定をHPに掲載 ・区のツイッター・フェイスブックで、地域が実施するイベントへの参加呼びかけ等について情報発信した(80件)。 ・「こども110番の家」協力家庭や犯罪発生情報について各々地図に掲載しHPに掲載しているが、GISを活用し集約しての情報発信には至っていない。 	①(ii)
—	1-1-4 【地域に根ざした活動の活性化(負担感の解消及び活動の充実)】	各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合:29年度を上回る割合をめざす(無作為抽出アンケートによる29年度:51.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金にかかる説明会を開催(6月) ・合同地域会長会で市民活動総合ポータルサイトへの登録を働きかけた。 ・区広報紙・区HPで地域活動協議会や地域振興会に関する記事を掲載するとともに、区広報紙に区内で活動する団体やグループの開催イベントを掲載した(5,6,7,8月)。 ・地域活動協議会紹介チラシを作成し、区内転入者やイベント来場者に配布(約2000枚)。 ・区のツイッター・フェイスブックで、地域が実施するイベントへの参加呼びかけ等について情報発信した(80件)。 ・各地域発行の広報紙をHPに掲載(19件) 	①(i)

担当 部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自 己評価
—	1-1-5 【校庭等の 芝生化】	芝生化を実施した地域 住民へのアンケート結 果で、住民間における コミュニケーションや学 校との関わりが増えた と感じる人の割合:50% 以上	専門家による技術サポートの実施(5月)	①(i)
—	1-1-6 【地域を限 定しない活 動の活性 化(テーマ 型団体)】	市民活動支援情報提 供窓口への問合せ件 数:29年度の窓口への 問合せ件数(平年度化 したもの)の10%増:13 件以上	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動支援情報提供窓口への問い合わせ件数4件(うち市民活動総合ポータルサイトへの活用紹介3件) ・区のツイッター・フェイスブックで地域活動協議会の活動紹介や地域が実施するイベントへの参加呼びかけ等について情報発信した(80件) ・区広報紙・区HPで地域活動協議会や地域振興会に関する記事を掲載するとともに、区広報紙に区内で活動する団体やグループの開催イベントを掲載した(5,6,7,8月)。 ・毎月の地域行事予定をHPに掲載 	①(i)
—	1-1-7 【コミュニ ティ育成支 援】	コミュニティ促進や文 化、スポーツ、子育て等 のイベントや講座等に 企画段階から参画した 団体やグループ、個人 の数:延べ30団体・個人 人以上	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの区民が企画から参加できるイベントの開催予定回数:7回 ・企画段階から参加した団体・個人数:48団体・個人 ・プロスポーツとの連携 セレッソ大阪:港区民デー2回 	①(i)
—	1-1-8 【ひと・まち まなびをつ なぐ生涯学 習の推進】	春いちばんふれあい フェスティバルへの参 加者数:800人以上	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習ルーム一覧発行(6月) ・はぐくみネット情報誌の配架・提供 ・春いちばんフェスティバル実施にかかる生涯学習推進員港区連絡会会議の開催(毎月)。 ・小中学校体育施設を開放(16校) 	①(i)
—	1-2-1 【地域活動 協議会に 対する財政 的支援】	本補助制度を地域の実 情に即して有効に活用 できたと感じている地域 活動協議会の割合: 60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・全11地域に補助金を交付(5月) ・補助金にかかる説明会を開催(6月) 	①(i)
—	1-2-2 【地域活動 協議会に 対するきめ 細かな支 援】	地域活動協議会の構 成団体が、自分の地域 に即した支援を受ける ことができていると感じ た割合:90%以上	まちづくりセンターと連携し、運営委員会等の開催支援、実施事業の会計処理指導、自主財源獲得のための情報提供を実施	①(i)
—	1-2-3 【地域活動 協議会の 認知度向 上に向けた 支援】	地域活動協議会を知っ ている区民の割合: 35%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会の認知度向上を目的とした各地域ごとのリーフレット作成を支援。広報研修会を開催し、効果的な広報のノウハウ、作成のアドバイスを行った。 ・まちづくりセンターを通じて、各地域の広報紙・ホームページ・フェイスブックの作成を支援 ・区広報紙(5,7月)、区HPで地域活動協議会の紹介記事を掲載 ・地域活動協議会紹介チラシを作成し、区内転入者やイベント来場者に配布(約2000枚)。 ・区のツイッター・フェイスブックで地域活動協議会の活動を紹介 ・各地域発行の広報紙を区HPに掲載 	①(i)

担当 部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自 己評価
—	1-2-4 【地域活動協議会の準行政的機能についての理解度向上】	地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている準行政的機能を認識している割合:80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域活動協議会の役員等に対し、準行政的機能について説明(全11地域、6月) ・地域担当職員eラーニング受験率100%、95点以上81.3% 	①(ii)
—	1-2-5 【地域活動協議会の総意形成機能の充実】	地域活動協議会の構成団体が地域活動協議会に期待されている総意形成機能を認識している割合:78.0%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域活動協議会の役員等に対し総意形成機能について説明(全11地域、6月) ・地域担当職員eラーニング受験率100%、95点以上87.5% 	①(ii)
—	1-3-1 【多様な主体のネットワーク拡充への支援】	新たに地域活動協議会とNPO及び企業等とが連携した取組を行った件数:5件	<ul style="list-style-type: none"> ・地活協と社会福祉協議会、公的機関が連携して取り組む居住支援事業における支援:1件 ・みなトクモン発掘レクチャー開催に向けた調整 	①(i)
—	1-4-1 【地域の実態に応じたきめ細かな支援】	まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合:90.0%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共人材を活用した地活協広報研修会の開催:3回 ・大阪市ボランティア活動振興基金の応募申請支援:5地域6団体 	①(i)
—	1-4-2 【市民活動の持続的な実施に向けたCB/SB化の支援】	区が関与したCB/SB起業件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数:2件 *平成29年度~平成31年度の3年間で6件	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ回収事業開始のための指導相談を行った。 ・年度後期にCB/SB研修会の開催に向けまちづくりセンターと意見交換をした。 ・コミュニティ回収:3地域導入予定 	①(i)

担当部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自己評価
防災・防犯部会	2-1-1 【地域防災の活動支援】	地域の自主防災組織が主体的に防災訓練(避難所開設訓練)及び防災学習会を実施した地域の数:全地域	地域防災学習会(2地域実施済)、避難所開設訓練の全地域実施	①(i)
	2-1-2 【避難行動要支援者支援の促進】	避難行動要支援者支援の内容を盛り込んだ避難所開設訓練を実施し、避難行動要支援者支援計画の策定に取り組んだ地域の数:8地域以上	避難行動要支援者支援の内容を盛り込んだ避難所開設訓練を実施し、避難行動要支援者支援計画の策定に取り組む。	①(i)
	2-1-3 【防災リーダーの育成】	防災学習を受けた中学生のうち「災害時の役割等を理解した」と答えた生徒の割合:85%以上	新人地域防災リーダーの研修会(実施済)、中学校での(ジュニア防災リーダー講習会(1校実施済))	①(i)
	2-1-4 【防災サポーター登録企業等の確保】	研修会に参加した防災サポーター登録企業のうち、サポート内容を認識できたと考えている企業の割合:70%	防災サポーター登録企業等への研修会等を実施する。	①(i)
	2-1-5 【災害時における初期初動体制の強化】	訓練に参集した直近参集職員の割合:95%	直近参集職員及び区緊急本部員の合同訓練を実施する。	①(i)
	2-1-6 【津波避難ビルの確保】	新たに指定した津波避難ビルの数:5箇所	津波避難ビルの指定について5施設以上に働きかけを行う。	①(i)
	2-1-7 【福祉避難所の設置運営支援】	福祉避難所の設置・運営訓練等を実施した数:5施設	福祉避難所の設置運営訓練等の実施を働きかける。	①(i)
	2-1-8 【防災・減災教育の推進】	小中学校における地域と連携した防災・減災教育の取組校数:6校	・小・中ともに教育行政連絡会での情報共有 ・ジュニア防災リーダー(5中)に加え、3小学校(磯路、三先、池島)で取組まれる予定。	①(i)
	2-1-9 【防災広報・啓発】	「災害の備えとして港区の広報紙やホームページが参考になった」と答えた区民の割合:60%以上	区広報紙の防災特集号を作成し配布する(8月実施済)とともに、区ホームページにおいて適宜情報を更新し、発信する。	①(i)

担当部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自己評価
防災・防犯部会	2-1-10 【津波による浸水区域外における災害時避難所等の確保】	湾岸5区を対象とした避難行動計画(案)の策定。(高精度な①浸水期間の算定、②小地域ごとの要避難者数の算定、③非浸水地域での避難施設の確保と避難ルートを選定、④避難所の運営方法など)	湾岸5区を対象とした避難行動計画(案)の策定を行う。	①(i)
	2-2-1 【地域防犯啓発】	防犯意識が向上した区民の割合:前年を上回る。 港区安まちメール登録者数:前年を上回る。	今年度、防犯教室、ひたくり防止カバー取付キャンペーン、ひたくり巡視パレード等、これまで計9回実施	①(i)
	2-2-2 【子どものための見守りカメラ設置】	平成30年の通学路や公園等で子どもが被害にあった犯罪発生件数(“ちかん”や“変質者”を含み、“声かけ事案”を含まず)を前年以下とする。	今年度、通学路設置予定6台の具体設置に向け、現在手続中(市民局、区)	①(i)
	2-2-3 【子ども見守り隊活動に対する支援】	平成30年(1~12月)の子どもに対する声かけの安まちメール件数を前年以下とする。	今年度も、11校下における支援を実施。現在、申請を受け、調達した物品の地域への配付を調整中	①(i)
	2-3-1 【自転車利用の適正化】	港区内全域の放置自転車台数:29年度(6,007台)の台数以下	今年度も、自転車利用適正化事業により、弁天町駅前において週2回の啓発指導を実施中	①(i)
	2-3-2 【弁天町駅周辺のバリアフリーに向けた取組】	基本構想の具体化に向け、関係機関等との連携を密にするための連絡調整会議を年1回開催し、弁天町駅周辺のバリアフリー化に向けた取組を促進する。	・年度内の会議開催に向け、会議内容について関係先と鋭意調整中 ・車いす横断支援の8月までの実績:13回(H29.4~H30.3 44回)	①(i)
	2-4-1 【種から育てる地域の花づくり支援】	花づくり広場6か所で植付け管理を行う区民ボランティア数を前年度より増加させる。	今年度も、花友リーダー養成緑化講習会を年明けに実施予定	①(i)

担当 部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自 己評価
防災・ 防犯部会	2-4-2 【国道43号 沿道環境 の改善】	影響を受ける地域と関係機関との連絡を密にし、情報共有を図るための会議を開催し、環境改善に向けた取組を促進する。	・年度内の会議開催に向け、会議内容について関係先と鋭意調整中	①(i)
	2-4-3 【特定空家 対策】	区民からの通報・相談のあった空家の調査を実施し、空家の状態に応じて、所有者等に適切な指導を実施。 ①周辺の特定空家等に不安などを感じてる区民の割合：10.7%以下 ②特定空家等の解体や補修等による是正件数：2件以上	今年度は、大阪府北部を震源とする地震や台風21号の影響により、特定空家をはじめとした所有者不明の老朽家屋に対する通報・相談が増大している。こうした通報に対して、即時対応を図り、所有者等に対して是正を促している	①(i)
福祉部会	3-1-1 【地域福祉 活動計画 の推進支 援】	全11校下で新しい地域福祉活動計画を策定する。	地域福祉活動計画策定ワークショップの開催：11地域中7地域(8月末現在)	①(i)
	3-1-2 【高齢者等 要支援者の 見守り支援】	要援護者からの相談延べ件数：3,900件	相談支援件数 1777件(7月末現在)	①(i)
	3-1-3 【認知症支 援ネット ワークの充 実】	地域包括支援センター運営協議会のメンバーに対するアンケートで「認知症支援のための関係機関の連携が進み、早期発見、早期診断の仕組みが機能している」と答えた人の割合：80%以上	・認知症連絡会の開催：2回・認知症相談会の開催：3回 ・認知症地域代表者級会議の開催：9月・1月 ・認知症講演会の開催：10月予定(8月末現在) ・広報みなと9月号で認知症相談窓口の周知広報	①(i)
	3-2-1 【在宅医 療・介護連 携の推進】	在宅医療・介護連携に関する専門職向研修受講者に対するアンケートで「港区の在宅医療・介護連携の取組みに対する満足度」で、満足と回答した人の割合：70%以上	6/20 グループワーク研修を実施：100名参加 グループワーク研修に対する総合的な満足度：80% 7/25 グループワーク研修を実施：51名参加 グループワーク研修に対する総合的な満足度：84%	①(i)
	3-2-2 【生活支 援コーディネ ーターの 配置による 生活支援・ 介護予防 の基盤整 備】	地域での「サロン」※やその活動を知っていると答えた区民の割合：60%以上 ※いきいきサロン、ふれあい喫茶、ふれあい型食事サービス、地域食堂、いきいき百歳体操、ラジオ体操など高齢者等が身近な地域で立ち寄って介護予防活動など様々な活動を行う場所。	4月27日 区社会福祉協議会HPに「港区あなたの知らない地域の生活情報帖」掲載 5月14日 いきいき百歳体操サポーター情報交換会開催 6月4日 いきいき百歳体操参加者交流会開催 9月(予定) いきいき百歳体操サポーター養成講座 7月26日 協議体(1回目)の開催	①(i)

担当部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自己評価
福祉部会	3-3-1 【高齢者等要支援者の見守り支援】 【再掲】	4-1-1の再掲	4-1-1の再掲	①(i)
	3-3-2 【乳幼児発達相談事業の強化】	「相談できる場を利用したことで不安が軽減された」と答えた養育者の割合:70%以上	相談件数 30年8月末時点: 217件、1歳6か月児健診時: 8件、3歳児健診時: 17件 発達相談: 3件、4・5歳児発達相談: 5件	①(i)
	3-3-3 【発達障がい児の養育者支援】	「相談できる場を利用したことで、不安が軽減された」と答えた養育者の割合:70%以上	ピアカウンセリング3回(5組)、講演会1回(8月末現在)	①(i)
	3-3-4 【児童虐待の防止・DV被害者の支援】	子育て支援連絡会のメンバーに対するアンケートで「子育て支援室」が児童虐待の早期発見・防止のために相談と連携の機能を果たしていると答えた人の割合:80%以上	要保護児童対策地域協議会実務者会議6回、子育て支援連絡会5回(8月末現在)	①(i)
	3-3-5 【障がい者・高齢者虐待の防止の取組み】	障がい者・高齢者虐待防止連絡会議のメンバーに対するアンケートで「関係機関との連携により、虐待事案の早期発見、迅速・適切な対応が行われている」と答えた人の割合:80%以上	・サービス利用調整会議の開催: 随時 ・障がい者・高齢者虐待防止連絡会議の開催: 1月予定 ・障がい者・高齢者権利擁護講演会の開催: 1月予定	①(i)
	3-3-6 【生活困窮者対応の充実】	生活困窮者自立支援にかかる関係機関等との事例報告・意見交換会を実施するとともに、支援プランを策定する際の支援調整会議において、外部の関係機関の参加によるプラン策定の割合を30%以上とする。	事例報告・意見交換会: 8月23日実施。 新規相談件数: 137件 外部機関との連携件数、割合 (支援調整会議におけるプラン策定37ケースのうち21ケース。57%)	①(i)
	3-3-7 【こどもの貧困対策の推進】	こどもサポート推進員や新SSW等の配置が、教育分野と関係機関等による福祉分野の支援等につながったケースが、小中学校全校で80件以上とする。	小中学校におけるスクリーニング会議Ⅱを各校概ね1~3回開催。対象児童数延べ 188人(8月末現在)対象となる児童数を多く見込んでいたため、数値目標至らず。	①(ii)
	3-4-1 【区民の健康増進】	健康月間中に健康づくり支援の取組に参加した区民の人数が平成28年度参加者数(2,091人)の20%増	今後実施予定	①(i)

担当部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自己評価
福祉部会	3-4-2 【がん検診・特定健康診査の受診率の向上】	①保健福祉センターで実施する全がん検診の充足率（受診者数/定員） 80%以上 ②1月末現在の特定健康診査の受診率：前年同時期の0.3%増	8月末時点の全がん検診の充足率：63.1% 8月末時点の保健福祉センターでの特定健康診査の受診者数：120名	②(i)
こども青少年部会	3-5-1 【区における人権啓発推進・人権相談】	人権啓発事業の参加者のうち、人権問題への関心や意識を高めるうえで役立ったと思う人の割合：80%以上	・レインボーカフェ3710の開催（毎月第4火曜日） ・人権展実務者会議 2回 ・レインボー3710×手話サークルみなと講演会「ろうとLGBTQの交差で～多様な性自認/性的指向について考えよう～」の実施協力 1回 ・区広報紙掲載 4回（拉致被害者、就職差別撤廃月間、特設人権相談所、犯罪被害者等支援） ・区HP掲載 3回（LGBT（性の多様性）啓発パネル、拉致問題、人権・家庭教育に関する学習会助成事業）	①(i)
	4-1-1 【分権型教育行政の効果的な推進】	区内において、学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議」の委員の割合：30%	・教育会議（区政会議・こども青少年部会）の開催：1回 ・区教育行政連絡会の開催：小中学校合同1回、中学校1回 ・区小学校長会・教頭会への出席・連絡調整：各4回 ・学校協議会委員への研修：1回 ・学校協議会会長情報連絡会の開催：1回 ・区内17校園の学校協議会への区職員の出席：1回	①(i)
	4-1-2 【学校の規模や配置の適正化など横断的な課題解決の取組】	「適正配置計画」を作成する。	・教育会議（区政会議・こども青少年部会）の開催：1回 ・区教育行政連絡会の開催：小中学校合同1回、中学校1回 ・教育会議（区政会議・こども青少年部会）、区教育行政連絡会及び学校協議会会長情報連絡会で、現状を示すとともに、適正配置計画案の方向性を説明	②(ii)
	4-1-3 【家庭学習促進】	各中学校で実施するアンケートにおいて、家庭学習や予習・復習の状況を問う設問に対し、肯定的回答の割合が、平成28年度を基準として改善している学校が3校以上	・家庭学習の手引きを作成し、新小学1年生の保護者に配付 ・区民センター等の空き室を利用した自習室の開設（夏休み期間7/24～8/27） 区民センター177人（1日あたり7.4人） 近隣センター114人（1日あたり4.75人） ・港エンパワメント塾の事業者を募集 ・塾代助成事業参画事業者への広報協力への調整：1事業者	①(ii)
	4-1-4 【地域の強みを活かした教育力向上】	各取組メニューの提供先となる対象（学校や参加者など）へのアンケートにおける肯定的意見：70%以上	・海遊館：3校 ・絵本による読書活動促進スタートアップ事業の実施：2回（2校） ・こどもサイエンスカフェの実施：4回	①(i)
4-1-5 【多文化共生教育スタートアップ事業】	多文化カフェへの参加児童生徒へのアンケートで「多文化共生に関心をもった」と回答する割合：60%以上	・多文化カフェ及び多文化エンパワメント教室の事業内容の精査検討 ・帰国・来日等の児童・生徒への学習サポーターの配置対象者：4人【7月末時点】 ・帰国・来日等の児童・生徒への学習サポーターの配置時間：313時間【7月末時点】	①(i)	

担当 部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自 己評価
こども 青少年 部会	4-1-6 【学校園に おける福祉 的課題をか かえる児童 生徒への 支援】	スクールソーシャル ワークによって好転した 新規ケースの件数:10 件以上	○スクールソーシャルワーカー 2人配置(67日、363.75h)【7月末時点】 ○臨床心理士 1人配置(港区教育相談4日、24時間)	①(i)
	4-1-7 【発達障 がいサポー ト等】	発達障がいサポート等 が「有効」と回答した学 校園の割合:100%	・発達障がいサポーターの配置時間:944時間【7月末時 点】	①(i)
	4-1-8 【港区サ ードプレ イス・不 登校児童 生徒支 援】	各中学校においてそれ ぞれ実施するアンケート において、学校生活 の楽しさや通学意欲を 問う設問に対し、否定的 回答した生徒の割合 が平成28年度を基準と して改善している学校 数が3校以上	・居場所の開設:4/21、5/26、6/9、6/23、7/28、8/8、8/25 計7回 ・土曜教育相談を実施:4/21、5/26、6/23、7/28 計4回 ・不登校児童生徒への別室登校等サポーターの配置:13 7h【7月末時点】 ・不登校児童生徒アウトリーチ型支援サポーターの配置:2 80h【7月末時点】	①(ii)
	4-1-9 【青少年 の健全育 成の推進 】	区民モニターアンケート による「1年間でこども の健全育成の活動に 参加したことがある」と 回答する割合:23%以 上 ※平成27年7月実施の 市政モニターの割合: 20.9%	青少年指導員・青少年福祉委員の委嘱業務にかかる活動 交付金を交付、青少年指導員による夜間巡視活動「指導 ルーム」の実施。 「青少年育成推進会議」における夜間巡視等(7・8月)、講 演会の実施(1校7月)、各中学校下青少年育成推進会議の 開催(4校)	①(i)
福祉 部会	4-2-1 【保育所待 機児童へ の対応】	・開設された保育施設 等:1か所以上	小規模保育事業所1カ所新設(4月1日現在)	①(i)
	4-2-2 【子育て支 援情報の 提供】	子育て情報が役に立っ たと答えた区民の割 合:97%以上	区広報紙7月号で子育て特集号作成・配布、乳幼児健診時 に子育て情報提供・相談15回(8月末現在)	①(i)
	4-2-3 【子育て相 談機関に よる支援 の充実】	子育て支援連絡会のメ ンバーに対するアン ケートで「子育て支援 室」が児童虐待の早期 発見・防止のために相 談と連携の機能を果た していると答えた人の 割合:80%以上	子育て支援室と子育て支援機関との4者会議5回、子育て 支援連絡会5回 (8月末現在)	①(i)

担当 部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自 己評価
—	5-1-1 【商工業者のビジネス 操業環境 の整備】	中長期的な次世代育成 支援事業で連携した事 業者数:3件以上	港区産業推進協議会として「次世代を担う人材育成支援事業(キャリア教育プログラム開発等)」を公募の結果株式会社リバネスに委託して実施(7月~)、大正・港ものづくり事業実行委員会事業として修学旅行生等の工場見学受入れ及びものづくりフェスタ(8/4)への参画、大阪商工会議所と連携して「ものづくり加工ネットワーク強化交流会」を共催(9/27予定)	①(i)
—	5-1-2 【港区の魅力発掘・創 出】	①「みなトクモン」の区 民モニターアンケートに よる認知度:50%以上 ②「みなトクモンのたま ご」を活用して創出が見 込まれる商品等の数 (5品)	みなトクモン認定(新規)2社・4品、みなトクモン発掘レクチャーの開催(9月予定)、みなトクモンに関する情報発信を区ツイッター・フェイスブックで随時実施	①(i)
—	5-1-3 【地域や事 業者等と連 携した商店 街による取 組の支援】	地域や事業者等と連携 した商店街による取組 の件数:3件	八幡屋商店街のイベント(7/1)における「いくらサーカス」(港区弁天)との連携支援、繁栄ワイワイ市場(繁栄商店街で毎月第一土曜日開催)の情報発信、区民まつり(10/7予定)へのみなトクモン認定事業者の出店支援	①(i)
—	5-2-1 【港区に住 む魅力の 発信】	マスコミ等による情報発 信:10回	マスコミ等への情報提供:8回、マスコミ等による情報発信: 5回	①(i)
—	5-2-2 【港区の魅力発掘・創 出】【再掲】	5-1-2の再掲	5-1-2の再掲	①(i)
—	5-3-1 【「築港・天 保山地区 まちづくり 計画」の推 進】	エリアの魅力・価値の 向上に向け、多言語対 応エリアマップ作成など を実施。また、平成29 年度に策定の築港・天 保山まちづくり計画を踏 まえて公民連携の手法 などにより具体的な施 策を推進していく。	・「築港・天保山にぎわいまちづくり実行委員会」による公募を実施し、協働事業者を決定(7月)。	①(i)

担当 部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自 己評価
—	5-4-1 【弁天町駅 前土地区画 整理記念事 業に係る検 討】	「(仮称)区画整理記 念・交流会館」の基本 設計の完了及び実施 設計への着手。	・基本設計完了(6月) ・区民情報コーナーにパネル設置(通年)	①(i)
—	5-4-2 【八幡屋公 園の利活 用】	八幡屋公園で開催され るイベント・行事等の発 信:3回以上 八幡屋公園でのイベン ト等の参加者:300人上 上/回	・「水遊びしチャオ」(7/19 参加者195名 <情報発信> 広 報紙、ツイッター等) ・「港区民まつり」(10/7予定 <情報発信> 広報紙) ・その他(こどもサイエンスカフェ(8/6 定員20名))	①(i)
—	5-4-3 【市岡商業 高校跡地 などの有効 活用】	関係局との調整を図り ながら、まちづくりの観 点から有効な活用策につ いて、地域の声を踏 まえて方向性を決定す る。	・マーケットサウンディングの再実施を含めて、進め方につ いて関係局と協議しつつ検討 ・区政会議にて現在の検討状況について説明(6月)	①(i)
—	6-1-1 【区の広聴 関係事業】	区役所がさまざまな機 会を通じて区民の意見 やニーズを把握してい ると感じる区民の割合: 50%以上	「市民の声」14件、「み・な・と改善箱」29件、「ツイッター」300 件、「フェイスブック」286件	①(i)
—	6-1-2 【区役所の 相談機能 の強化】	日常生活に関する様々 な相談や要望につい て、区役所が適切に対 応していると感じる区民 の割合:80%以上	さまざまな相談や要望について、随時受け付け、フィード バックを行っている。	①(i)
—	6-2-1 【区におけ る住民主体 の自治の 実現】	区民の意見や要望を聞 き、区政の運営に反映 するよう努めていると感 じている区民の割合: 50%以上	区政会議第1回(6月実施済)、第2回は10月、第3回は3 月実施予定。	①(i)
—	6-2-2 【分権型教 育行政の 効果的な 推進】【再 掲】	4-1-1の再掲	4-1-1の再掲	①(i)

担当 部会	具体的取組	業績目標	実績等	中間自 己評価
—	6-3-1 【区政情報の積極的 発信】	区のさまざまな取組(施策、事業、イベントなど)について行っている情報発信の内容は十分と感じている区民の割合:50%以上	区広報紙、区HPへの区長メッセージ掲載:5回、ツイッター投稿:300回、フェイスブック投稿286回(H30.8月末現在)	①(i)
—	6-4-1 【窓口業務におけるサービスの向上】	①区役所へ過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合:85%以上 ②区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数:3.5点以上	窓口サービス向上委員会における取組を予定どおり進めて	①(i)
—	6-4-2 【区民が納得できる効果的・効率的な業務運営】	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に即して区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合:60%以上	市政改革プラン2.0の実践。	①(i)
—	6-4-3 【効率的な区行政の運営の推進】	①不適切な事務処理事案の件数(公表ベース):29年度件数(7件)の10%減の6件以下 ②日頃からPDCAサイクルを意識して業務に取り組んでいる職員の割合 90%以上	パンダカフェのみなどへの掲載(9月号掲載済み) 5S・標準化推進委員会における取組を予定どおり進めている。 【8月末現在】不適切事務処理事案件数 4件	①(i)